

【研究シーズテーマ】

配電系統信頼度評価ツールの開発

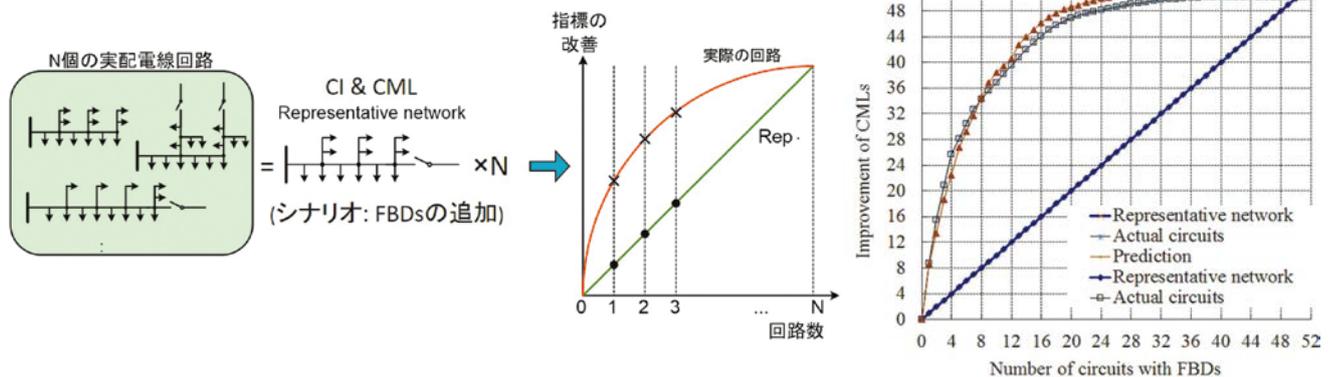
 工学部 電気システム工学科 教授 **川原 耕治**

Keyword
配電系統／設備投資／供給信頼度指標


【研究シーズの概要】

電力自由化が進展していく中、配電系統の供給信頼度改善は、これまでの十分な資金のもとでの投資が困難となり、費用対効果を十分に検討し株主や需要家に説明する義務が生じています。我々は、静的な信頼度指標であるCI(Customer Interruption)とCML(Customer Minute Lost)を、膨大な数の配電系統からリファレンスネットワークに基づいて効率よく計算する手法の開発を行い、投資効果の高い設備を特定することが可能になりました。

◎寄与率の推定



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- クラスタリング技術を用いているため、個別回路の信頼度計算が不要です。
- 開閉器の最適配置の検討を行うことができます。
- 投資効果が信頼度指標の改善値で表現されるため、第三者への説明が容易です。

【産業界での展開・用途】

- 営業所単位での供給信頼度評価
- 設備更新による影響評価

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp